広報ひこね
通巻第1270号
（平成24年7月1日発行）

入賞者決まる！　第48回　市民文芸作品

延べ409人の皆さんから俳句406点、短歌235点、川柳190点、冠句252点、詩25点、随筆・評論23点、小説4点、合計1,135点の応募をいただきました。これらの中から、特選19点、入選39点、佳作168点が選ばれました。

各部門の特選は、次の皆さんです。

問い合わせ先　㊐教育委員会文化振興室☎23-7810、FAX21-3080

《俳句》
湖凪の夕日に染まり帰る鴨　野村　代志子（よしこ）さん（栄町一丁目）
仁王像木目浮出す残暑かな　松本　ちずる（たきざわ）さん（東近江市）
おすわりの嬰が真ん中花筵　瀧澤　照子（てるこ）さん（日夏町）

《短歌》
初生りの赤み増しくる橙に　防鳥ネットふたえに被す　出口　庄次（しょうじ）さん（近江八幡市）
見晴かす十基の風車立つなかに　意志持つように回らぬもある　髙井　豊さん（正法寺町）
しずり雪したたる朝のまばゆさよ　初めてよその子を叱りきて　石川　麻子さん（大津市）

《川柳》
お互いに頑張りましょうと蔓伸びる　島田　洋子さん（須越町）
暮れなずむ厨の隅の哀ひとつ　杉原　源一郎さん（甲崎町）
ほぐされてやさしい風の中にいる　大谷　のり子さん（地蔵町）

《冠句》
久しぶり心をみたす風に逢う　野田　美代さん（新海町）
この時世せめてひと日を花の城　寺阪　美智子さん（大藪町）
熱心に眞意尽せば道拓く　野田　市郎さん（新海町）

《詩》
名を呼べば　髙井　豊さん（正法寺町）
くすの木通り　谷口　明美さん（西今町）
佐和山小学校一九四一年　江畑　俊一さん（外町）

《随筆・評論》
爺と孫のボランティア　寺村　滋（しげる）さん（日夏町）
さようなら　木村　弘和さん（芹川町）
草野球　近藤　正彦さん（中央町）

《小説》
湖東平野　木村　泰崇（やすたか）さん（犬上郡多賀町）

市民文芸講座・部門別研修会のご案内

入場無料

日時　7月7日㈯　10：00～12：00
会場　ひこね市文化プラザエコーホール
第1部　市民文芸講座（10：00～11：00）
▶演題「国語力は人間力」…いのち・こころ・ことば…
▶講師　吉永幸司さん（京都女子大学教授・京都女子大学附属小学校校長）

第2部　部門別研修会（11：00～12：00）
「俳句」「短歌」「川柳」「冠句」「詩」「随筆・評論」「小説」の部門別に、市民文芸作品選者の皆さんが、出品作品を講評します。
定員150人（先着順）　※事前申込不要
問い合わせ先　㊐教育委員会文化振興室☎23-7810、FAX21-3080

正確な職人技に思わず拍手

表紙の写真

6月9日、稲枝西小学校（本庄町）の体育館で、児童と保護者による木工教室が行われました。

今回は、4人の大工さんが講師となって本棚や木箱などを製作しました。

まず、大工さんが糸鋸（いとのこ）や電気のこぎりなどを使って木を寸法どおり正確に切断しました。児童は、電気のこぎりを使って木を切断する大工さんの迫力ある姿に目を輝かせて見入っていました。

その後、児童らは切られた木を使って、のこぎりや接着剤を使いながら、思い思いの作品を仕上げていました。

人口と世帯数

平成24年6月1日現在

人口	112,485人	（－7）
男	55,603人	（＋14）
女	56,882人	（－21）
世帯数	44,389世帯	（＋32）

（　）内は前月との比較

発行：彦根市
編集：情報政策課
●1日・15日発行

▼「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。
▼廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▼この「広報ひこね」は49,500部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。
VEGETABLE OIL INK